

地域交流事業

やまびこサロン

開催時間 10:00~11:00

【西鴨】たのしく食育♥ 10月13日(木):西鴨公民館
簡単!健康レシピ紹介!

【天神野】お楽しみ活動★ 10月20日(木):天神野公民館
小鴨コミセンお出かけ事業「シダローズリース作り」
(シダローズとはバラの形をした松ぼっくりのことです。)
用意するもの:近用メガネ(必要な方)

【中河原二】いろいろ遊ぼう♪ 10月27日(木):中河原二集会所
楽しい脳トレと工作を行います!



手話教室

日時: 10月18日(火) 9時~10時
場所: やまびこ人権文化センター 和室



ウイルス感染状況によってセンター事業を変更または中止する可能性があります。あらかじめご了承ください。

巡回食堂「ばあばのランチ」がやってきます! [第二弾]

開催日時: 10月16日(日) 11時30分~

開催場所: 天神野公民館

小学生以下:無料
中学生・高校生:100円
大人:200円



※新型コロナウイルス感染状況によっては中止することもあります。

今回は、テイクアウト(持ち帰り)のみです。
無くなりしだい終了します。
どなたでも気軽に来てね!



~困りごとや人権侵害 ひとりで悩まないで~

悩みごと、生活での困りごとはありませんか?
ひとりで抱え込まずに、どんなことでもご相談ください。

差別落書き・差別発言などに遭遇しましたら、
倉吉市人権政策課もしくは やまびこ人権文化センターにご連絡ください。

倉吉市役所人権政策課(電話 22-8130)

やまびこ人権文化センター(電話 28-4265)



人ある限り人権を



発行 やまびこ人権文化センター

住所 倉吉市中河原 772-6 電話・FAX 0858-28-4265

E-mail yamabiko@ncn-k.net

2ヵ月ぶり! やまびこサロンを開催しました

新型コロナウイルス感染拡大で中止していたサロンを9月に再開しました。
「今日はどんなことをするの?」「ここに来るのが楽しみ!」等、嬉しいお言葉を沢山頂きます。
どんどん外へ足を運んでほしい・どんなことでも良いからお話をしに気軽にきてほしい・・・。
思いが沢山詰まったサロンでどんなことをしているのか、9月開催のサロンを紹介します。

【お楽しみ活動】9/8 西鴨

~小鴨コミュニティセンターお出かけ教室~

講師として河本睦美さんをお招きし、「シダローズリース作り」を行いました。初めて見るシダローズ・・・実は「松ぼっくり」なんです!! バラの様に開くことからこの名がつけられたようです。

「どんなふうに飾ろうかな」「ここに葉っぱがあればきれいかな」と考えて行う事で脳の活性化にもなりました。

完成した作品は、小鴨コミュニティセンター作品展に飾らせて頂きます。

お楽しみ活動 今後の予定...10/20 天神野、11/24 中河原二



【いろいろ遊ぼう】9/15 天神野

~お薬手帳ケースを作ろう~

講師として北村仁美さんをお招きし、「お薬手帳ケース」作りを行いました。作業前に脳トレで休んでいた間の脳を活性化してから裁縫に取りかかりました。「どんなのができるかな?」「時間かかりそうだな」との声も聞かれましたが、折ってミシンで縫ってひっくり返してとしていると、あっという間に完成してしまいました。

いろいろ遊ぼう 今後の予定...10/27 中河原二、11/10 西鴨



【たのしく食育】9/22 中河原2

~美味しい出汁の作り方~

講師として森 眞寿美さんをお招きし、簡単にできるお出しの作り方を教えて頂き、実際に試飲をしてみました。

鰹節・昆布からとる出汁はとても飲みやすくびっくり!!

普段のお料理に一手間をいれることで健康にも良いこともお話し頂きました。

たのしく食育 今後の予定...10/13 西鴨、11/17 天神野



*新型コロナウイルス感染拡大予防のため、検温・手指消毒・換気・を行いながら実施しています。

子どもの貧困とは・・・

2020年7月に厚生労働省より、中間的な所得の半分に満たない家庭で暮らす18歳未満の割合「子どもの貧困率」は、2018年時点で13.5%という発表がありました。

世帯類型別では、母子家庭などの「ひとり親」世帯の貧困率は48.1%にのぼり、生活が苦しい実態が浮かんでいます。

2000年以降13～16%台で推移しており、抜本的な改善には至っておらず、世界先進7カ国では高水準とのことです。

「貧困」を考える

貧困率が13.5%ということ、子どもの7人に1人が貧困状態にあることとなります。私たちは本当に、そう実感しているのでしょうか。

2016年8月に、子どもの貧困問題を扱ったテレビ番組で、貧困体験を語った高校生をめぐって「本当の貧困ではない」といった批判が、インターネット上で相次ぐという「騒動」がありました。

「貧困」をめぐる騒動

番組では、高校生が経済的理由で進学をあきらめたという厳しい生活ぶりが紹介されました。

しかし放送後、漫画やイラストが趣味とみられるこの高校生の部屋を映した映像や、会員制交流サイト(SNS)の情報をもとに、「本当に貧困なのか」「趣味を我慢したら進学できたのでは」などの疑問がネットに流れ始め、本人の個人情報暴露して中傷する者まで現れたのです。中傷はしないまでも「それはそうかも」と感じた人もいたかもしれません。

当事者の嘆き

騒動は、困窮世帯の出身者に影響を与えました。奨学金を借りるなどして私立大に通う大学生は、「趣味にお金を使うから貧困でない」と論じられたことに

「貧困だと、文化的にも精神的にも豊かになることを許されないのですか」「私には『奨学金で学校に行くなら、勉強とアルバイトだけしていればいい。サークルに入らず、身なりを気にせず、目の前のことを精一杯やっている』と言われるのと同じです」と嘆いていました。

貧困の現実 抱える苦悩



「貧困」のイメージって？

「貧困」と言われると、多くの人が、“住む家がない”とか“食べる物にも事欠く生活”という旧来の認識から脱皮できず、「今の日本の貧困とは何か」が知られていないのではないかと指摘もあります。

貧困には、生死の境にあるような状態を指す「絶対的貧困」と、社会で一般的とされるレベルで生活ができない「相対的貧困」があります。

絶対的貧困は、発展途上国で用いられることが多い概念なのです。日本では、相対的貧困を基準として様々な施策が取り組まれています。

見えづらい貧困・・・子どもへの影響

ところが2016年の騒動では、「相対的貧困なんて貧困とは認められない」「生死にかかわるほど衣食住が不足する“絶対的貧困”状態でなければ貧困じゃない」という声の一部が上がりました。

相対的貧困とは

ある社会で一般的と考えられているレベルの生活ができない困窮状態になっていること。

自由に使えるお金が多い人から順に並べて、ほぼ真ん中となる人の所得の半分に満たない所得（厚生労働省の国民生活基礎調査では2018年は127万円未満）の生活状態の人をいう。

日本における子どもの相対的貧困率は2012年が16.1%、2015年が13.9%でした。

相対的貧困は「絶対的貧困よりもまし」ということではありません。相対的貧困は周囲に見えづらく、時には大きな精神的ダメージになります。

相対的貧困が特に顕著なのが、子どもへの影響です。経済的な貧しさゆえにできないことが多く、傷付かないために「どうせ私なんて」と何事にも諦めるようになってしまいます。『諦め感』を持ってしまった子どもに、意欲を再度持たせるのは難しい場合が多く、それが学習や進学、就職にも響いてきます。

深刻化する困窮

日本にも絶対的貧困に近い状態の人は存在します。そして、困窮しているけど絶対的貧困ではないという人たちが、グラデーションを描くように存在します。相対的貧困といっても、困窮度合いの強弱は様々なのです。

特に新型コロナ禍では、相対的貧困世帯がさらに困窮を深めています。番組で取り上げた高校生のような相対的貧困世帯が、生死にかかわる絶対的貧困になっていくことがあります。

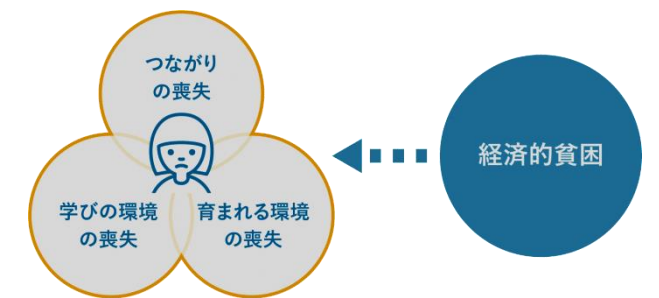


ひとり親家庭 生活厳しく コロナ禍雇用不安 物価高追い打ち

「2人暮らしの高校3年生の長女が部活を辞め、家計のためアルバイトを始めた」。福岡県久留米市の派遣社員の女性（45）が話す。女性はスーパーに勤めるが、コロナ禍で勤務時間が短縮され、月の手取りは約15万円から数万円減った。国の特例貸付制度を使ったが、物価高で食費やガソリン代が増え、食卓や弁当のおかずを減らしている。

長女はバレーボール部の遠征費負担が重くなり退部した。教材、文具費などをバイトで稼ぐ。進学を諦め就職を考え始めた。女性は「親として切ない」と声を震わせた。

(2022年7月3日新聞記事より)



どんな社会を求めるのか

テレビ番組を観て、「あれは本当の貧困じゃない」という言葉に「それはそうかも」と思ったなら、ちょっと立ち止まってみませんか。社会の貧困に対する考え方や支援が「生死にかかわること」まで困窮しないといけなのか、と。

私たちは、生死にかかわるところまでいかないと救ってもらえない社会を望んでいるのでしょうか。